

年 組 番 氏名

米国に記者として①チュウザイ（ ）したころ、マリナーズに入団したてのイチロー選手を追いかけた。常に②カモク（ ）で、（1）試合後も心境など語らない。それでも大勢の日本人記者団が③エンセイサキ（ ）で待ち構えた。「日本」の記者はイチローのことならひざの④クッシン（ ）まで報道する」と米紙に報じられた▼そのころチームの同僚が彼につけたあだ名は「ウェザード」（魔法使い）。ガラス箱に入れられた⑤テンジ（ ）動物のように大量の視線を終始浴びながら、試合となれば力を発揮する。その姿に同僚たちも感嘆した▼⑥験（ ）かつぎも数々報じられた。忘れるのは、グラウンドへ歩き出すときの最初の一歩の決め方。右足で踏み出して打てなかつた翌日は、左足から。打てた日の翌日は同じ足で。⑦精緻（ ）である▼大リーグで10年もの間、シーズン200本安打という記録を打ち立てた。ただし、（2）その時期ですらスランプに⑧オチイ（ ）つた。（3）安打が途切れ、ふさぎ込むのはたいてい170本を超えたあたりだ。重圧のすさまじさを思う。そのイチロー選手がきのう引退を表明した▼ムチのようにしなるバット、ミリ単位の選球眼、レーザービームと呼ばれた送球、驚異的な守備範囲の広さ。「（4）僕はほかの選手のように特別な才能がないから、バランスがよくなければいけない」。そんな自分への厳しさもファンを⑨ミリョウ（ ）した▼「イイイイイチロー」。大リーグの球場ではイチロー選手が打席に入るとそんなアナウンスが場内に流れた。あの打者紹介がもう聞けなくなるかと思うと、⑩ムショウ（ ）に寂しい。

〔2019年3月22日「天声人語」〕

問一 ①～⑩のカタカナ部は漢字に直し、傍線部は読みを書き入れなさい。

問二 傍線部（2）の指示内容を30字程度で答えよう。

（ ）

問三 傍線部（3）の状態を文中の4字のカタカナで答えよう→（ ）

問四 傍線部（4）の言葉へのあなたの感想を30字程度で自由にまとめてみよう。

（ ）

問五 イチローの獲得タイトル数を、語群から選んで（ ）内に書き入れよう。

a 日本での首位打者（ ） b 大リーグでの首位打者（ ）

c 日本での最多安打（ ） d 大リーグでの盗塁王（ ）

e 日本でのシーズンMVP（ ） f 大リーグでのゴールドグラブ賞（ ）

〔語群〕 • 1回 • 2回 • 3回 • 5回 • 7回 • 10回

問六 次の文中の「」部にあてはまる言葉を後から選び、その記号を○で囲もう。

・おとといの東京ドーム、観客に促され、試合終了後のグラウンドにイチローが再び立つた。拍手と歓声が包む。「 」その後の記者会見では、ファンへの感謝を何度も口にした。

A 最後の試合を母国の日本でプレーできることに感謝しています。

B あれを見せられたら、後悔などあろうはずがありません。

C 花まるです。たいへんよくできました、ですね。